



情報学群 知識情報・図書館学類



*College of Knowledge and Library Sciences
School of Informatics*

知識と情報の力

私たちは今、未曾有の時代に生きています。IoTやAIによるパラダイムシフト、地球規模での高齢化や認知症の増加、毎年のように襲う記録的豪雨や大型台風、そして地震。新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックは、私たちの行動様式や価値観まで変えつつあります。

このような時代には、これまでの考え方やルールが必ずしもそのまま踏襲されていくわけではありません。かといって、すべてが変わるというわけでもありません。変えるべきものと変えてはいけないもの、変えられるものと変えられないものを見極め、判断しつつ、未来を拓くことが必要です。そのためには、断片化された膨大な情報を取捨選択しながら知識として体系化し、自ら考え、行動する能力が求められます。

知識情報・図書館学類では、知識と情報の力で、社会を支え、切り拓く人材を育てます。この学類でも学びを足がかりに、知識情報のスペシャリストとして未来を担ってみませんか。



知識情報・図書館学類長
呑海 沙織



春日エリアの施設





筑波大学
天王台
エリア

筑波大学
春日
エリア

目次

学ぶ	2~5
研究室訪問	6
教員紹介	7
入試(2023年度)	8~9
推薦入試	10~11
3年次編入	12
私費外国人留学生入試	13
在学生の声	14~15
進路	16~17
卒業生の声・橘会情報	18~19
図書館情報学図書館のご紹介	20
学生生活Q&A	21



春日
グラウンド

春日講堂

テニス
コート

北通入口

北大通り

春日学生
宿舎

研究棟
7D

講義棟
7A,7B

高細精医療
イノベーション棟

春日弓道場

図書館情報学
図書館

第4体育館

筑波大学
春日エリア前
バス停

食堂

東通入口

駐車場

正門



学ぶ

■ 知識情報・図書館学類とは？

みなさんは何かについて知りたいと思ったとき、どうしていますか？まわりにある情報の多さに困惑していませんか？知識情報・図書館学類では、情報化社会に生きる私たちが知識や情報を有効に活用するためのさまざまな仕組みを扱います。そこには、社会に息づく図書館や文書館もあれば、広大なインターネットの世界、膨大な情報やデータの利用と分析、未来への知識や情報の伝達などが含まれています。

知識や情報を有効に活用するためには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。システムを創るためには、制度や文化、運営について考えなければなりません。知識情報・図書館学類では、これらの課題について「知識科学」、「知識情報システム」、「情報資源経営」の三つの主専攻が協力して、知識や情報と社会をつなぐ人材を育成します。

■ カリキュラム

知識情報・図書館学類のカリキュラムは図1のようになっています。1年次には、総合科目、外国語や体育などの基礎科目に加えて、知識情報、知識情報システム、図書館などについての概論や、プログラミング入門、情報数学などの専門基礎科目を通して、基礎的知識や技術

を学びます。2年次には、1年次に得た知識や技術をさらに深めていくため、主要なテーマごとに設定された講義と、技術を修得する知識情報演習などからなる専門基礎科目を履修します。3年次になると三つの主専攻のいずれかに属して、専門科目を履修します。多様な視点を育成するため、所属する主専攻の専門科目だけでなく、他の主専攻の専門科目も履修することが要求されます。4年次には、研究室に所属して卒業研究を行い、卒業論文を執筆します。資格取得をめざす人のために、司書教諭、司書、教員免許、テクニカル・コミュニケーターの科目も開講しています。

■ 専門教育

知識情報・図書館学類の専門教育の内容は、三つの主専攻に集約されています。各主専攻の特徴は、表1のようになっています。知識科学主専攻は「人間」、知識情報システム主専攻は「情報技術」、情報資源経営主専攻は「社会」をキーワードに、幅広い視野を養い、専門領域の内容に即して、人間、技術、社会・文化の結合と相互の役割を理解するための科目を展開しています。

図1 知識情報・図書館学類のカリキュラム体系

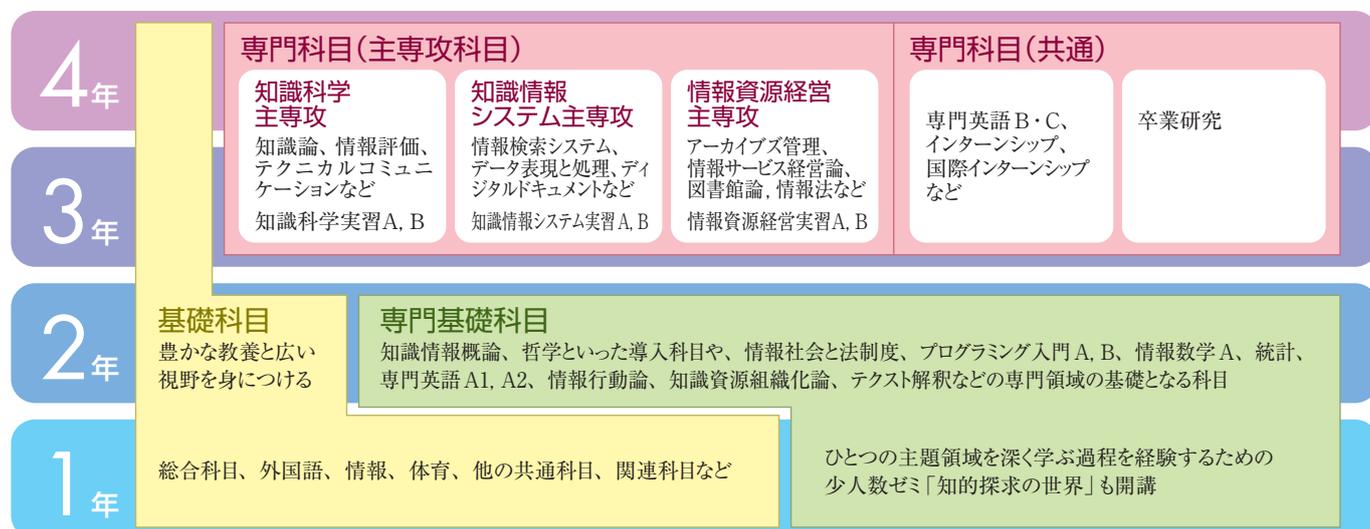


表1 各主専攻の特徴

	知識科学主専攻	知識情報システム主専攻	情報資源経営主専攻
ポイントは?	人間	情報技術	社会
何を学ぶか?	知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用	知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用	知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用

図2 知識情報・図書館学類の科目一覧

学群共通科目		専門科目		☆主専攻実習	☆卒業研究
体験型システム開発 ビジネスシステムデザイン		知識科学主専攻	[専門情報] テクニカルコミュニケーション, サイエンスコミュニケーション [知識共有] 知識論, 知識コミュニケーション, メディア社会文化論 知識形成論, 身体知, Human Information Interaction [知識行動] 学術メディア論, コミュニティ情報論, ソーシャルメディア分析 図書館建築論 [知識発見] 情報評価, 生命情報学, データマイニング Machine Learning and Information Retrieval		
基礎科目	専門基礎科目	情報資源経営主専攻	[知識情報環境の構築] 図書館論, 学術情報基盤論, 経営情報システム論 [知識情報サービスの経営] 情報サービス経営論, パブリックガバナンス [知識情報サービスの構成] 情報サービス構成論, コレクションとアクセス [知識情報の社会化] 学校図書館論, メディア教育の実践と評価 [知識情報の規範] 情報法, 知的財産権論 A [メディア文化] インターネット動画メディア論 [図書館と書物の文化] 図書館文化史論, 日本図書館学, アーカイブズ資源 アーカイブズ管理, PBL型図書館サービスプログラム開発		
☆第1外国語(英語) ☆総合科目 (ファーストイヤーセミナー, 学問への誘い等) ☆情報 (講義, 演習, データ サイエンス) ☆体育 第2外国語	[知識情報演習] ☆知識情報演習 I, II, III [統計とその応用] ☆統計 量的調査法 多変量解析 機械学習 [専門英語への導入] ☆専門英語 A1, A2 [知識と人間] 情報探索論 質的調査法 ユーザ研究実験法 情報行動論 知識発見基礎論 システム思考	学類共通	[研究と英語] ☆専門英語 B, C [司書教諭科目] 学校図書館メディアの構成, 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性, 情報メディアの活用 [インターンシップ] インターンシップ, 国際インターンシップ		
[知識情報学への導入] ☆知識情報概論 ☆アカデミックスキルズ ☆哲学 知識情報システム概説 図書館概論 [プログラミング基礎] ☆プログラミング入門 A, B [数学] ☆情報数学 A 線形代数 A 微分積分 A [情報科学] 情報科学概論 知能と情報科学 計算と情報科学 システムと情報科学 [情報メディア創成] 情報メディア入門 コンテンツ入門	[知識とシステム] 知識資源組織化論 コンピュータシステムとネットワーク 自然言語解析基礎 データベース概説 [知識と社会] 情報社会と法制度 知的財産概論 生涯学習と図書館 公共経済学 経営・組織論 メディア社会学 アーカイブズ基礎 [メディアの理解] テキスト解釈 映像メディア概論 [少人数セミナー] 知的探求の世界 I, II				

☆は必修科目

■ 特色ある科目

1年次には、大学生活への適応を支援する「ファーストイヤーセミナー」に引き続き、文章を読む、まとめる、議論する、発表するなどのコミュニケーション基礎力を養う「アカデミックスキルズ」を必修科目としています。また、文理融合型のカリキュラムによって総合的な能力を育てるとともに、2年次と3年次には必修の演習（「知識情報演習」、「知識科学実習」、「知識情報システム実習」、「情報資源経営実習」）を開設し、知識と技術の確実な定着をめざします。さらに、4年間を通して英語力を維持向上させるために英語による授業（専門科目）を開講したり、実社会での専門的な職業体験ができるよう、図書館や企業における「インターンシップ」を開講しています。

■ 国際インターンシップと海外研修助成

筑波大学は知識情報学の国際的研究教育拠点であり、世界的な交流が行われています。その交流関係を活かして、2009年度よりカナダ、アメリカ、ドイツ、中国、韓国、台湾における様々な図書館や情報センターと連携した「国際インターンシップ」を開講しています。受講者は研修先に10日間ほど滞在し、相手国の図書館や情報センターの業務を見学・実習することで、国際感覚やコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を養います。これまでの研修先と受講者数は表2を参照してください。また、ピッツバーグ大学や釜山大学など、海外の学生が筑波大学を訪問した際には、講義や見学をとおして、日本の図書館や関連機関について学ぶ機会も提供しています。※COVID-19により2022年度は開講しません。

表2 国際インターンシップ受講者数

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
アメリカ（ハワイ大学、ミシガン大学、ピッツバーグ大学）	2	1	1	1	1	1	—
中国（上海図書館）	—	2	—	2	—	—	—
韓国（釜山大学）	1	1	2	1	—	—	—
ドイツ（シュトゥットガルトメディア大学）	—	—	—	—	2	2	3
台湾（台湾師範大学）	—	—	—	—	—	—	2

（新型コロナウイルス感染症のため、2020～2022年度は実施せず）

表3 図書館情報学海外研修助成を受けたテーマの例

北欧における図書館の現状（スウェーデンとフィンランド）
中国における情報学の現状と問題意識の調査（中国）
イギリス公共図書館アイデアストアにおける子育て支援—社会的包摂の視点から—（イギリス）
カンボジアの教育事情—学校・施設の取り組みを通して（カンボジア）
北欧の公共図書館におけるIT利用支援サービス（デンマーク）
欧州諸国と日本の公共図書館の比較（イギリス、フランス、オランダ、ベルギー、デンマーク）

さらに、同窓会である図書館情報学橘会の支援を受け、知識情報学に関する国際的な知見を深めるための短期海外研修事業として「図書館情報学海外研修助成」を実施しています。この事業では、自分が作成した海外での研修プランに対して、渡航費や滞在費などが助成されます。

■ 組み込み技術キャンパスOJT

先端ITベンチャー企業から派遣された技術者の指導をキャンパス内で受けながら、実践的な技術が習得できます。受講生がIPAの未踏IT人材発掘・育成事業に採択されるなど大きな成果を挙げています。

■ enPiT

情報学群は情報技術を高度に活用して社会の具体的な課題を解決できる人材育成のために、産学協働で課題解決型学習（PBL）の実践的教育を推進する全国的な拠点に採択されました。アジャイル型チーム開発を行う先進的な授業として展開しています。

■ 図書館情報学3/4+2共同教育プログラム

米国ペンシルベニア州のピッツバーグ大学大学院計算情報研究科（School of Computing and Information）との共同プログラムです。学類を3年で早期卒業し、同研究科図書館情報学プログラム（修士）に進学できます。通常卒業4年でも進学可能です。参加条件はGPA3.25以上、TOEFL iBT80点以上で、対象者は図書館情報学プログラムを受験する際、GREが免除されます。ピツ

ツバゲ大学はQS大学ランキングの図書館情報学分野で全米10位の有名校です(2022年1月時点)。

■春日ラーニングコモンズ (KLC)

ラーニングコモンズとは、大学内に形成された「学習するための共有スペース」です。KLC (Kasuga Learning Commons) は図書館情報学図書館のなかにあり、だれでも利用できます。

KLCにはICT環境として、カラープリンタ、大型ディスプレイ、ホワイトボード、ミーティングテーブルなどが設置されています。KLCには上級生チューターが質問を受け付ける専用カウンターがあり、週に3~5回16:30~20:00にチューターが講義や履修に関する質問を対面とオンラインで受け付けています。

1年のときにKLCで上級生からレポートの書き方や、パソコンをネットワークに接続する方法を教わった学生が、今度はチューターとしてみなさんの入学を心待ちにしています。



上級生チューターが質問を受け付けるカウンター



KLC

撮影 池田光雪 (知識情報・図書館学類卒)

■司書資格と司書教諭資格

知識情報・図書館学類では、司書と司書教諭の資格が取得できます。司書や司書教諭は他の大学でも取得できますし、場合によっては通信教育や司書講習でも取得できます。しかし、同じ資格でも、知識情報・図書館学類は以下の点が異なります。

- (1) 資格のための科目ではなく、知識情報学の専門科目として自然に位置づけられています。
- (2) 現在の図書館は情報センターとしても機能しています。司書資格の多くは文系学科で取得しますが、本学類では理工系、たとえば情報システムにも明るい学生を育てています。
- (3) 図書館での現場実習が「インターンシップ」「国際インターンシップ」として組み込まれています。

単なる資格として取得するか、実力の伴った資格にするか、それはみなさん次第です。

■テクニカルコミュニケーター専門課程

テクニカルコミュニケーターとは、仕事としてテクニカルコミュニケーション(機器や各種サービスに関して、利用者が求める情報を、正確かつわかりやすく表現するとともに、効果的に提供すること)に携わる人々のことをいいます。テクニカルコミュニケーターには、情報処理能力だけではなく、ライティングや検索力、企画力、法的知識など、幅広い能力が求められます。

2012年度より、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会(JTCA:テクニカルコミュニケーションの専門家団体)が、テクニカルコミュニケーター専門課程の認定を開始しました。これは、JTCAが定めた専門分野に関する科目から成る課程を認定するもので、知識情報・図書館学類はこの認定を取得しました。知識情報・図書館学類の定められた科目を履修し、JTCAに申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程の修了認定が受けられます。

研究室訪問



叶 少瑜 准教授 (知識科学主専攻)

現在、LINEやTwitter・Instagramは勿論、Pinterest等の使用率も急増しています。人々はこのようなコミュニケーション系のソーシャルメディア(つまりSNS)を使用して、情報を獲得すると共に、他者とコミュニケーションをし、情緒的サポートを獲得することも可能になっています。一方、既読無視等に由来する「LINE疲れ」やネットいじめ、またSNS上で親しくない他者との比較を通して、友人関係満足度を低下させたり、精神的健康を損なってしまったりすることも大きな社会的問題になっています。

叶研究室では、このような状況を踏まえ、社会心理学のアプローチから様々なメディア特にソーシャルメディアの使用がユーザの社会適応にいかに関与し、影響を及ぼすのかを研究しています。例えば、最新論文では、Facebook・Twitter・Instagramの使用がユーザの孤独感・幸福感に与える影響は、使用パターンやフォロワーとの親密度によって異なることを明らかにしました。また、2020年からCOVID-19の影響も含め、Beforeコロナに比べて、大学生のソーシャルメディア使用にどのような変化があるのか、それは自身の精神的健康といかに関係するのか、ミクロとマクロの視点から解明を進めています。

私は学生時代からPCやガラケーを研究対象にしてきて、現在も様々なソーシャルメディアと人間の相互作用に焦点を当てて研究しています。それゆえ、学生たちにも身近なものからでよいので、自由に研究テーマを選んでもらって、できる限りのサポートをしています。また、社会科学は正解のない世界なので、卒業研究は正解を得るためではなく、あらゆる社会現象に興味・関心を持ち、先行研究の知見を踏まえて、得られた結果を論理的に説明できればよいと考えています。そして、卒業研究を遂行する際に、困難に遭遇して自力で解決できない場合は、指導教員や先輩・同級生に相談し、助けを求めることができるようになってほしいと常に思っています。ぜひ多くの方と本学類でお会いすることを楽しみにしています。



高久 雅生 准教授 (知識情報システム主専攻)

ウェブ上には日常的なものから学術的な内容まで、さまざまなコンテンツやサービスがあふれています。しかしながら、それらのコンテンツ群を適切に組織化して容易にアクセスできるようにするという情報専門家の営みは古くから変わっていません。そのためには、コンテンツをどのようなキーワードでアクセスできるようにするか、対象とするコンテンツに適した表現力の高いデータモデルはどのようなものかという課題と向き合わなければなりません。こういった組織化の課題に応える一方で、利用者の情報ニーズを的確にとらえることも重要です。利用者は、単一のコンテンツに辿りつくことを求めているのか、複数のコンテンツを横断して比較検討を加えたいのかなど、さまざまなニーズや文脈をもっています。

高久研究室では、これらの問題意識のもと、1) 情報組織化のためのLinked Open Data (LOD) 技術の活用、2) 文書群を適切に索引付けして利用者の情報ニーズを満たす文書を取り出す情報検索技術、3) 利用者のニーズや探索プロセスの理解を助ける情報探索行動といった領域で研究しています。

近年の卒業研究のテーマには「主題情報に基づく情報探索支援手法」「新書本による学問発見支援システム」「関心が広がるキーワード自動生成システム」「ディスカバリサービスにおけるクエリとの関連度を考慮した情報源提示システム」などがあります。

一年をかけて一つのテーマに取り組み、その結果を自分の言葉で説明するという卒業研究のプロセスは学生生活の集大成であり、何よりも自身を成長させる資産と信じます。研究室はこの学習を支える基盤として、毎週の教員との個別面談やゼミ全体でのミーティングといった機会を使って学びを支え、ともに、ぜひ皆さんと一緒に学びたいと思っています。



鈴木 佳苗 教授 (情報資源経営主専攻)

私たちは生活や学習の多くの場面でメディアから多くのメッセージや情報を得たり、自ら必要な情報を探したり、メッセージや情報を発信したりしています。各種メディア(本、インターネット、テレビなど)には、速報性、広域性、保存性、一覧性などの特性があります。変化が激しく常に新しい未知の課題に対応することが求められる知識基盤社会では、このようなメディアの特性を理解し、慎重にメッセージや情報を読み解き、組み合わせるなどして新たな知識を創り出していくことが求められています。

私たちとメディアとの関わりには、メディアがどのような内容のメッセージや情報を伝えているのか、メディアの利用者はどのような影響を受けるのか、ポジティブな影響を促進しネガティブな影響を低減するにはどのような学習・教育プログラムが推奨されるのか、私たちが有用な情報を収集したり、発信したりするためにはどのような学習・教育や地域などによる支援が推奨されるのかなどの重要な研究課題があります。

鈴木(佳)研究室では、このような研究課題に対して、公共図書館、学校図書館、幼稚園・保育園、学校などを対象として、メディア分析、調査や実験などを通して研究を進めています。ゼミではこのような研究の方法について学び、多くの文献を読み、ゼミでの議論を通して研究テーマを絞り込んでいきます。

最近の卒業研究のテーマの例として、「健康食品におけるCM広告の特徴」、「小学生の読書体験が学習意欲に及ぼす影響」、「幼児を対象とした読書と体験に関する活動の現状と循環プログラムの開発」、「インフォメーション・リテラシーの育成における学校図書館の活用」などがあります。これらは学術的な意義だけでなく、社会的な意義もある研究テーマです。卒業研究の抄録は知識情報・図書館学類のウェブページ(「学ぶ」)に掲載されていますので、ぜひ参照してみてください。



教員紹介

知識情報・図書館学類を担当する教員と各々の専門を表すワードです

知識科学主専攻

于海濤

- 機械学習
- 情報検索
- 知識グラフ・情報知能

後藤 嘉宏

- メディア社会学
- 社会思想史
- マス・コミュニケーション論

上保 秀夫

- 人間中心の情報検索と推薦
- ライフログ
- ユーザ研究

照山 絢子

- 文化人類学
- 医療人類学
- コミュニケーション学

長谷川 秀彦

- データサイエンス
- ハイパフォーマンスコンピューティング
- 数値線形代数

松林 麻美子

- 情報行動
- メディア分析
- コミュニケーション

叶 少瑜

- メディア
- ソーシャルサポート
- 精神的健康
- 対人関係

芳鐘 冬樹

- 研究者の生産性
- 研究協力ネットワーク
- 計量誌学

太田 美奈子

- 映像メディア
- メディア社会学
- メディア技術史
- 映像文化論

三波 千穂美

- テクニカルコミュニケーション
- サイエンスコミュニケーション
- コミュニケーション育成

辻 慶太

- シソーラスの自動構築
- レファレンスサービス
- 図書推薦システム

歳森 敦〔兼担教員〕

- 選択行動モデル
- 選好意識の解明
- 地域施設計画

真栄城 哲也

- 生命現象の解明
- さまざまなモノの関係性
- 専門知識の利用

松原 正樹

- 認知科学
- 感性工学
- 身体知と芸術表現

横山 幹子

- 知識の確実性
- 知識の共有
- 言語と思考

知識情報システム主専攻

伊藤 寛祥

- 機械学習
- ソーシャルネットワーク分析
- ヒューマンコンピューテーション

大澤 文人

- 教育におけるマルチメディアの活用
- 教育におけるコンピュータの活用

金 宣経

- ヒューマンコンピュータインタラクション
- 学習支援システム
- 認知科学

佐藤 哲司

- 情報アクセス
- 知識写像とコミュニティ分析
- コンテンツ工学

関 洋平

- 情報アクセス
- 自然言語処理
- コミュニケーション支援

時井 真紀

- 情報表現
- 計算物理
- 計算機シミュレーション

落合 陽一〔協力教員〕

- HCI
- VR
- CG

森継 修一〔協力教員〕

- 数式処理のアルゴリズム
- 計算幾何学
- 和算研究への応用

宇陀 則彦

- 知識共有現象の解明
- 情報資源の多層化マネジメント
- スマートライブラリ

加藤 誠

- 情報検索
- Webマイニング
- オープンデータ

阪口 哲男

- Linked Dataに関わる開発支援
- クラウドソーシング基盤技術と応用
- 情報共有・伝達の技術基盤開発

鈴木 伸崇

- データベース
- データ工学
- アルゴリズム

高久 雅生

- 情報行動
- 電子図書館
- 情報検索

松村 敦

- 読み聞かせと絵本推薦
- 情報探索・情報検索・情報推薦
- Web情報システム

森嶋 厚行〔協力教員〕

- データ工学 / ビッグデータ
- 集合知 / クラウドソーシング
- ソフトウェア工学

情報資源経営主専攻

池内 淳

- 公共図書館政策
- 図書館評価

小泉 公乃

- 図書館経営
- パブリックガバナンス
- 公共圏

武田 将季

- 超高齢社会サービス
- ユニバーサルサービス
- 情報リテラシー

BARYSHEV EDUARD

- アーカイブズ学
- 国際関係史
- 比較社会学

綿抜 豊昭

- 日本の図書文化
- 江戸の書籍文化
- 和歌・連歌・俳諧

逸村 裕

- 学術情報流通
- 情報利用行動
- 大学図書館

白井 哲哉

- アーカイブズ学
- 図書館地域資料
- 日本地方史

辻 泰明

- 映像メディア
- 映像アーカイブ
- 映像コンテンツのインターネット配信

村井 麻衣子

- 知的財産法
- 著作権法
- 著作権の制限規定

溝上 智恵子〔協力教員〕

- 大学教育
- 教育政策
- 生涯学習論

大庭 一郎

- 情報サービス (レファレンスサービス)
- 公共図書館
- 図書館職員

鈴木 佳苗

- 読書・学習環境 (学校図書館など) の整備と活用
- メディア利用の影響
- メディア教育

香海 沙織

- 超高齢社会における図書館と認知症支援
- 知識情報基盤
- 図書館文化史

村田 光司

- アーカイブズ学
- 記憶情報の伝達と管理
- 西洋前近代史

小野 永貴

- 学校図書館
- 学習情報資源
- 情報教育

高良 幸哉

- 情報法
- 情報保護法制
- 情報刑法

原 淳之

- ヨーロッパの図書館
- 図書館文化史
- 図書館の国際比較

吉田 右子

- 公共図書館論
- 公共図書館サービス
- 公共図書館史

入試(2023年度)

入試の種類	概要とポイント	スケジュール
推薦入試 小論文と面接・口述試験に基づく選抜 募集人員 40名	論理的思考力とコミュニケーション能力 小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要。面接(ビブリオバトル)では、本を推薦する説得力、他の人の発表に対する質問力、的確な回答力がポイント。	9月上旬: 募集要項公表 11月上旬: 出願受付 11月下旬: 入学試験
3年次編入学 提出書類と面接・口述試験による選抜 募集人員 10名	これまでの学習内容と入学後の学習計画 これまでの学習内容と編入学後に学びたいことを学習計画書として提出。入学後にどのような知識や技術を身につけたいのかきちんと説明できるかがポイント。	4月中旬: 募集要項公表 6月上旬: 出願受付 7月中旬: 入学試験
一般入試 大学入学共通テストと個別学力検査に基づく選抜 募集人員 後期日程10名	広い視野と独創性を重視 大学入学共通テストと小論文。小論文で自分の考え方をしっかりとまとめるのがポイント。	10月下旬: 募集要項公表 1月中旬: 共通テスト 1月下旬: 出願受付 3月中旬: 入学試験
AC入試 自己推薦書と面接・口述試験に基づく選抜 募集人員 5名	自分自身の課題でトライ 自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提示。未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイント。	6月下旬: 募集要項公表 9月上旬: 出願受付 10月上旬: 第1次選考結果発表 10月中旬: 入学試験
私費外国人留学生入試 日本留学試験とTOEFL、小論文、面接による選抜 募集人員 若干名	知識と情報について学ぶ意欲と日本語能力 小論文は日本語で論理的に表現できるかがポイント。面接には知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切。	9月上旬: 募集要項公表 1月中旬: 出願受付 2月下旬: 入学試験
国際バカロレア特別入試 提出書類と面接・口述試験による選抜 募集人員 若干名	主体的に学ぶ意欲 主体的に学ぶ意欲のアピールと論理的思考やコミュニケーション能力がポイント。	6月中旬: 募集要項公表 10月上旬: 出願受付 11月下旬: 入学試験

大学説明会

4月に3年次編入学説明会、8月に受験生のための筑波大学説明会(オープンキャンパス)、11~12月に私費外国人留学生入試説明会(オンライン)を行います。入試のほか、カリキュラムや学生生活など、知識情報・図書館学類のことを詳しく知るチャンスです。皆様のご参加を歓迎します。詳しくは学類Webページをご覧ください。

詳細は必ず「入学者選抜要項」及び「学生募集要項」を参照してください。

問い合わせ先 筑波大学 教育推進部 入試課 電話 029-853-6007



筑波大学の入学者選抜制度は前期日程での総合選抜の導入に伴って、2021年度入試から大きく変わりました。ここでは、「知識情報・図書館学類で学ぶ」という視点で変更点・注意すべきことを説明します。

総合選抜による入学者は、入学時には学類が決まっておらず、2年生になる時点で本人の希望と単位取得した科目、成績などで学類が決定します。知識情報・図書館学類は、前期日程（定員40名）を廃止し、総合選抜入学者を2年次から45名受け入れることにしました。

■ 知識情報・図書館学類への志望が明確な人

最初から知識情報・図書館学類で学ぶ意志がはっきりしている人には、アドミッションセンター入試（定員5名）、推薦入試（定員40名）、後期日程（定員10名）の受験をお勧めします。特に、推薦入試は明確に志望が定まっている受験者の主な受け入れ口と位置づけて、学習成績の基準を引き下げたり、1校で推薦できる数の制限を撤廃したり、既卒者の出願を認めたりなど、門戸を大きく広げました。平均評定値が4.0に達しない人でも「筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者」という条件に合致すると高校が認めた場合は出願資格があります。知識情報・図書館学類で学びたい方は、まずは推薦入試の受験を検討してください（p.10参照）。

入学者選抜制度が変わっても、学類のカリキュラム自体は変わらないので、総合選抜以外の入試で知識情報・図書館学類に入学した人は、このパンフレットで説明されているカリキュラムで学ぶことになります。

■ 志望する学類を迷っている人

知識情報・図書館学類に興味はあるが他の分野にも魅力を感じる等、志望先に迷いがある人や、大学で実際に授業を受けながら自分の志望先を選びたい人は前期日程の総合選抜を受験すると良いでしょう。総合選抜は科

目の組み合わせや配点の違いなどで4種類の選抜区分がありますが、知識情報・図書館学類は文系の入学者から10名、理系Ⅲの入学者から30名を優先して受け入れます。また、文系と理系Ⅲを含む全ての区分から5名を受け入れます。複数の分野を学ぶことに積極的な学生を受け入れるため、知識情報・図書館学類は、全学でも最大の45名を受入定員としています。

総合選抜からの移行（所属学類を決めることを「移行」と呼びます）にあたっては、指定した科目の単位取得を条件とする学類もありますが、知識情報・図書館学類ではそのような条件は設定しません。知識情報概論、プログラミング入門、情報数学Aは知識情報・図書館学類生が1年生で履修する必修科目ですが、これらを履修せず他の科目を選択した人でも、知識情報・図書館学類への移行を希望できます（1年生でこれらの科目を履修しなかった人は2年生で履修することになります）。その点では、知識情報・図書館学類はどの学類・専門学群とでも志望を両立できるようになっています。また、1年生で履修する科目の大部分を情報学群で共通化したので、情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類の間では特に移行先を選択しやすくなっています。

総合選抜から知識情報・図書館学類に移行しても、他の入試区分で入学した学類生とカリキュラムは同じです。1年生で履修しなかった科目があれば、2年生以降で補いながら、4年間で学類の卒業要件を満たすように学ぶことになります。





推薦入試の面接は ビブリアオ

「ビブリアオバトル」方式の面接を導入しました。本を推薦する説得力に加えて、質問力、質問に対する回答力などの能力を多面的に評価することを目指しています。

1. 出願資格

既卒者も出願可能です。出身学校長の推薦が必要です。

2. 推薦要件

下記のいずれかに該当する者とします。

(1) 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

(2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者（実績を証明する客観的資料があれば添付のこと）

(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

3. 選抜方法

小論文及び面接を実施することは変わりません。ただし、面接方法をビブリアオバトルとします。

面接では、自分が選んだ本の魅力を伝えてもらい、それをもとにメンバ全員でディスカッションします。これは、日本で生まれたコミュニケーションゲームでビブリアオバトルと呼ばれています。バトルと言っても論戦ではありません。面接員は自分の意見をうまく伝えられるか、協調的な質問ができるか、質問の意図を汲んで的確に回答できるかなどを評価します。



……。何もわからないけど。

推薦入試の面接はビブリアオバトルです。順番に説明していくね!!



ビブリアオバトルって何ける?

5分で本を紹介して、読みたくなった本(チャンプ本)を決めるコミュニケーションゲームよ。



チャンプ本に選ばれれば受かるける?

チャンプ本と面接の評価は無関係です。



これ入試として成り立つのける?

成り立つよ。志望動機や高校での活動といったありきたりな話題ではなく、その人がこれだと思った本を紹介してもらうことで、表現力、説得力、質問力を見るの。



これ入試にするとマジける!?

マジ。

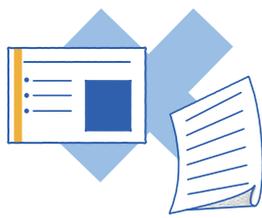


本はなんでもいいける?

本は自分が紹介したいものを1冊選んで下さい。漫画も電子書籍もおっけー!!面白い例だと時刻表とかあったらいいよ。ただ、本の実物や電子書籍の画面を見せるのはOKだけど、補助資料(スライド・レジュメ等)は使用禁止です。ライブ感が大事なの。



紙の本はもちろん
漫画・電子書籍もOK!



補助資料
スライド・レジュメ等はいりません

バトルです。



ちゅーりっぷさん

面接の流れ

一・入室（4～6人）

たのもー

元気よく入ろう

二・1人5分、本の紹介

5:00
時間厳守

強い この本は

三・1人2～3分
紹介した本の質疑応答

強い この本は

わい

わい

強い この本は

読みたいと思った本を選ぼう

四・投票でチャンプ本を決定

五・面接員はその様子を観察

「人を通して本を知る。本を通して人を知る」

ビブリオバトル入試
レッツチャレンジ！

3年次編入

1. 編入について

知識情報・図書館学類では、次の2種類の編入生を受け入れたいと考えています。

- ①類似した領域から来て、そこで習得した知識・技術を深める
- ②異なる領域から来て、そこで習得した知識・技術をもとに新しい道をめざす

①のタイプは、たとえば短期大学で司書資格科目を履修したり、高等専門学校で情報工学を専攻したりするうちに、より専門的に学びたいと考えようになった人たちです。②のタイプは、たとえば法律学や化学を学んで、その知識を知識情報学(図書館情報学)のなかで活かして法律図書館や化学情報といった今までとは異なる領域について学びたいと考えようになった人たち、あるいは情報工学を技術的側面から学んできたのちに社会的側面からも学びたいと考えようになった人たちなどです。

2. 入学試験

入学試験では、学習計画書を提出していただき、その内容について30分程度の面接・口述試験を行います。

学習計画書には、自分は①のタイプなのか、あるいは②のタイプなのかをよく考えて、2年間の大学生活でどのようなことを学びたいのかをまとめてください。学習計画書を補足するための資料を添付してもかまいません。

面接・口述試験では、10分程度でこれまでの学習内容、志望の動機、これからの学習計画などについて説明していただきます。試験時に説明用資料を配布することもできます。

編入学試験では、その時点での学習計画をきちんと説明できることが重要で、入学後にその学習計画を変更してもかまいません。

3. 入学

合格発表後、8月末の平日午後に合格者向けのガイダンスを実施します。カリキュラムや単位認定についての概要を説明したうえで、クラス担任予定者や教育課程担当の教員が、合格者ごとに単位認定の見通しの試算や主専攻選択について個別面談を行います。例年、ガイダンスでの単位認定見直しを受けて、在籍校での履修計画を見直す人が多く、結果的に編入学時の認定や入学後の履修がスムーズに進むようです。

卒業に必要な単位数の約半分を、編入学時までの学修内容に応じて単位認定します。これまでの実績では55単位~69単位、平均すると約63単位が認定されています。卒業に必要な単位数は124単位ですから、編入学後61単位前後の履修が必要になります。1年次入学の標準的な履修プランでは1・2年次で約80単位、3・4年次では約45単位となっています。

知識情報・図書館学類生としてかならず学んでほしい科目は単位認定の対象外なので、1・2年次に混ざって受講する必要があります。この場合、同じ時間帯に開講される3・4年次向けの専門科目は4年次に受講することになります。

編入学者は3年次生として、三つある主専攻のひとつに所属し、1年次からの学生に混ざって主専攻実習や専門科目を学びます。卒業研究の研究室配属は3年次秋に行います。

背景が異なるさまざまな編入生を受け入れるため、クラス担任を中心に、学習計画の指導に力を入れることになっています。計画的に履修すれば司書資格の取得は可能ですが、教員免許状を2年間で取得するのは不可能です。

4. 説明会

2022年4月16日(土) 13:30からオンラインで編入説明会を行います。

私費外国人 留学生入試

知識情報・図書館学類は、日本人学生だけでなく外国人留学生も積極的に受け入れます。

意欲ある外国人留学生の皆様の受験を歓迎いたします。

1. 出願まで

1月上旬から中旬にかけて、出願登録および出願受付を行います。まず、インターネット出願登録ページ (<https://e-apply.jp/e/tsukuba/>) で出願登録をした後、必要書類を郵送してください。出願の際には、(1) 日本学生支援機構 (JASSO) が実施している「日本留学試験」の成績通知書の写しまたは成績確認書、および、(2) TOEFLの成績評価書 (Examinee (Test Taker) Score Report) の写しなどが必要です。なお、日本留学生試験は、表に記載の「文科系」または「理科系」のいずれかを受験し、出願基準を満たす得点を得ている必要があります。

2. 試験当日

2月下旬に試験があります。試験科目は、小論文、および、面接・口述試験です。

- 小論文の試験時間は90分です。日本語で論述し、論理的思考力、理解力および日本語能力を評価します。過去問がアドミッションセンター (<https://ac.tsukuba.ac.jp/>) の「入試について」に掲載されていますのでご参考ください (ただし、問題文は著作権の関係でボカシ処理されています)

表 日本留学生試験の受験科目

文科系／理科系	日本語	総合科目	数学	理科	出題基準	出題言語
文科系	○	○	コース1 または コース2	—	試験の得点 (合計点) が 平均点以上であること	日本語
理科系	○	—	コース1 または コース2	自由選択	試験の得点 (合計点) が 平均点以上であること	日本語

- 面接・口述試験は、15分程度の個別面接を行います。知識情報・図書館学類の教育内容との適合性、学習意欲、積極性、日本語によるコミュニケーション能力などを総合的に評価します。

3. 入学後の支援

本学類の留学生相談では、修学・生活上の問題をはじめ、留学生の様々な問題に関する相談を受け付けています。また、筑波大学にはチューター制度があり、在学生在が外国人留学生の生活面 (学内や市役所等での諸手続き、買い物、授業等) をサポートします。日本語学習支援として、留学生向けの日本語講座が設けられており^[1]、図書館情報学図書館では日本語初学者向けの図書を取り揃えています。他にも様々な支援制度を設けています^[2]。

[1] 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター (<https://www.cegloc.tsukuba.ac.jp/>)

[2] 留学生のための学生支援

(<https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-international/>)

4. 説明会

11～12月に、受験生を対象としたオンライン説明会を行う予定です。詳細は知識情報・図書館学類のWebサイト (<https://klis.tsukuba.ac.jp/j>) に掲載します。

在学生の声



(所属・学年は2022年度現在)



田中 大陸 TANAKA Riku

知識情報・図書館学類2年

前ページの「研究室紹介」や「教員紹介」等を読んで、学類名の第一印象との違いに驚いた方が多いでしょう。知識情報・図書館学類は知識、それらの記録と媒体の伝達・共有について探求する学類です。関心の範囲は本や映像、データ分析にSNSと多岐に渡ります。あなたの関心に合う学問領域がきっと見つかるでしょう。

さて、学類の1年次では知識情報概論や図書館概論、数学、情報学系の科目から本学問とはどういったものかを学んでいきます。例えば、知識情報概論では人が持つ知識空間と知識が記録された情報資源空間、これらが言語やテキストを通してどのような知識共有現象を起こしているのか学習します。

また、1年次では多くの人が情報学群領域の講義に加えて他学群の専門導入科目を受講することになります。自分の興味関心に沿う講義、見知らぬ学問領域に触れられる良い機会です。私は社会学や宗教学、遺伝学等を受講し

ました。広い視野で物事を見るために他学問を学ぶことはもちろんのこと、自身の学問領域にどう関連付けるかも重要です。例えばメディアやSNSといった分野には社会学や心理学が関連しますし、アルゴリズムに遺伝学の知識が活用されていることもあります。3年次の主専攻選択に向けて、図書館情報学に対する造詣を深めていってください。

知識情報・図書館学類に興味を持って頂けたら、次は本学類ホームページから卒業論文の抄録や学類誌にアクセスしてみましょう。学類生の関心事についてより詳しく知ることができます。ぜひ今後の探求のヒントにしてください。

森本 ひのき MORIMOTO Hinoki

知識情報・図書館学類3年

「知識情報・図書館学類ってどんな学類なの?」と思う方も多いかと思います。私なら「幅広く学べ、充実な学生生活を送る人が多い学類」と答えます。それぞれ詳しく説明していきますね。

まず、幅広く学べる学類と形容する理由は、知識とは何かという哲学的な側面から、昨今話題のトピックである情報学、さらには図書館情報学を専門に学ぶことができるためです。幅広く様々なことを学ぶことができるため、多種多様な側面に対して知見を広げることができます。

次に、充実した学生生活を送る人が多い学類と形容する理由は、他の学類に比べて学業以外の学生生活にも力を入れて日々の生活を送っている人が多いと感じるためです。私自身、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(以下、全代会)という学生組織に所属しており、2021年度全代会議長を務めていました。全代会とは、学生の意見を拾い上げ、大学にその意見を伝え改善を図ったり、解決できるように動いたりすることで、より良い大学・学生生活を造っていく組織です。学業と全代会の長としての活動を両立することは大変な面も多々ありましたが、様々な人と関わりながら目標に向かって活動していく生活はとても充実していました。私の他にも、サークルの長に就任し一所属懸命活動している人や、学業と学業との合間に時間を見つけアルバイトを活発に行っている人など、たくさんの知識情報・図書館学類の学生が様々な面で活躍しています。この学類には、学業だけでなくその他の活動も全力で行う学生が多く集まっていると思います。

ぜひ一緒に、知識情報・図書館学類で学業に励み、充実した学生生活を送りましょう!



茂業 哲也 SHIGENARI Tetsuya

知識情報・図書館学類4年

筑波大学情報学群の3つの学類の中で、知識情報・図書館学類は一番「情報」を多角的に学ぶことのできる学類だと思います。私は、入学前からコンピューターから図書館まで幅広く興味があったので、この学類を選択しました。この学類では、図書館に関する授業はもちろん、数学やプログラミングから法制度や哲学まで、情報に関する幅広い分野を学ぶことができます。また、他学類の授業もかなり柔軟に履修することができるので、自分の興味の幅を広げることができます。かといって、学びが浅くなるわけでもありません。3年次には知識科学主専攻、知識情報システム主専攻、情報資源経営主専攻の中から、興味のある専攻に進み、より専門的なことを学びます。

文理融合と言われている本学類ですが、文理融合の学類で最も良かったと思えたことは学生の個性の豊かさです。元々文系、理系だった人が約半々の割合で、かつ入試形式も相まって多様な出身の人が多く、個性的な人が多くて

楽しいです。また、授業でもそれぞれの得意分野を生かして助け合っている場面が多く見られます。

これは私の肌感ですが、先生から届くお知らせメールや授業の雰囲気から、すごく本学類と学生のことが好きで、学生の背中を全力で押してくれる先生方が多いです。また、学類全体の雰囲気としても、互いの個性を尊重し、それぞれが自分のペースで好きなことに挑戦している多様性に溢れているように感じます。学びの環境としても十二分に整っており、「情報」という分野に少しでも興味があれば、入って良かったと思える学類になると思います。



三宅 健太郎 MIYAKE Kentaro

3年次編入(大学出身) 知識情報システム専攻4年

私は高専、大学を経て知識情報・図書館学類へ編入を行いました。高専では画像処理などの情報工学を学び、大学ではコンピューターサイエンスを学んでいました。その中で人間、文化や社会なども混ぜながら情報学を学びたいと思い、本学類を志望しました。

2021年は大学での講義のみならず、さらなるチャレンジをしたいと思い、未踏IT人材発掘・育成事業(以下、「未踏」)とSecHack365に応募しました。「未踏」はITを用いた独創的なシステム開発について、支援を受けながら開発を行える事業です。ここで、私はスマートミーティングのツールを行なっています。SecHack365はセキュリティとハッカソンをテーマに1年間システム開発を行うプログラムで、ここでさまざまなシステム開発を行なっています。

学業と課外活動が重なる日々で、最初はとて大変でした。しかし、同期の編入生と連絡を取りながら学習を進めることができ、とても充実した日々を過ごしています。私は情報系から編入しましたが、同期には法学、栄養学、語学など異なる分野を専攻していた人が多いです。このように編入同期だけでも多種多様なバックグラウンドを持った人々がいて、その人々と関われるのも3年次編入の特徴です。

総合大学である筑波大学は、各々がこれまで経験してきた見地を活かして学びを深められる場所です。皆さんが皆さんらしく学びを深めて行かれることを、心から願っています。そして、どのような状況であっても食欲に学び続ける姿勢を持ち続け、新しいことに挑戦し続けてみてください。知識情報・図書館学類はそのような積極的な学生には最高の環境だと思っています。これを読んだ皆さんと、共に学べる日を楽しみにしています。

大平 季林 OHIRA Kirin

3年次編入(高専出身) 知識科学専攻4年

私は高専の中でも珍しい文系学科出身です。高専では、経済学や経営学、コンピュータ科学、コミュニケーション学など幅広い分野に触れてきました。そんな中、人々とメディアの関係をより深く学びたいと考え、知識情報・図書館学類に編入しました。

2021年度も新型コロナウイルスの影響により、オンライン授業が中心でした。慣れない環境のなか大学に通うこともできず、初めは不安でいっぱいでした。しかし、そんな時こそほかの編入生たちと連絡を取り合い、互いに助け合うことで、難しい課題にも取り組むことができました。様々なバックグラウンドを持ち個性豊かな編入生がいることは、この学類の特徴であり良いところだと感じています。編入して約1年、知識情報・図書館学類で文理融合の幅広い学びを進めることで、より多角的な視点から物事を捉えることができるようになりました。今まで触れてこなかった分野に関わり新たな知識を得ることは、自分自身の考えを深めるのに有意義な経験です。

履修科目の多さや苦手分野の授業など大変なことはもちろんありますが、自分自身の行動次第で充実した大学生活を送ることができます。私の場合、サークルには入らずアルバイトをしていますが、そこで築かれた交友関係も踏まえ、刺激的で楽しい毎日を送っています。イレギュラーな状況のなか編入に対して不安を抱くこともあると思いますが、知識情報・図書館学類には様々な分野からの編入生が多いため、他分野からの編入でも安心して学びを深めることができます。筑波大学で有意義な学生生活を過ごしましょう!



ウ ショウゲツ YU XIAOYUE

留学生 知識情報・図書館学類2年

知識や情報のことを学んでいると聞くと、理系学生のイメージが思い浮かぶかもしれませんが、知識情報・図書館学類は、文系学生の私にとっても非常にふさわしい学類だと思います。

「なぜ文系学生が情報系の専門分野に入れるの?」と思われる方が多いかもしれませんが、知識情報・図書館学類は理系と文系に細分化されない、文理融合でゼネラリストを育てる学類です。一年次には理系の科目-情報数学、微分積分、線形代数、プログラミングなどの授業が開講されていると同時に、知識情報概論、図書館概論などの文系分野に近い科目も開講されています。そして二年次以後、哲学等の文系分野と統計等の理系分野の授業も受講できます。理系の授業を受ける際、理系学生と異なり、高校まで学んだことのないその科目の基礎知識がよく出てきますが、時間をかけ学習すれば、授業についていけると思います。しかも周りの理系の友人が親切にわからないことを

教えてくれるので、文系学生であっても理系授業の受講を心配しなくてもいいと思います。

最後に、留学生として伝えたいことは、筑波大学ではチューター制度が導入されていることです。入学したばかりの頃から同学類の先輩が留学生のチューターとして、勉強や生活のことなどを親切に尋ねてくれ、助けてくれます。今後の大学生活に良い基礎を築くことができます。

ロ ゲツドウ LYU YUETONG

留学生 知識情報・図書館学類2年

こんにちは、LYU YUETONG(ロゲツドウ)と申します。中国の遼寧省瀋陽市出身です。

筑波大学は世界的に非常に有名である上に、自分も情報学にとっても興味がありましたので、知識情報・図書館学類に進学しました。知識情報・図書館学類のカリキュラムは非常に豊富で、私を最も引きつけたのは文理融合という特徴です。1年次のときに、総合科目や外国語、体育などの基礎科目に加えて、知識情報概論や文章を読んで議論してまとめるスキルと発表するスキルを鍛えることができるアカデミックスキルズなどの特徴ある必修科目があります。また、理系的な科目では情報数学やプログラミングといった科目があります。このような文理を同時に習得できる学びを通し、横断的に把握できることで、広い視野が養われ、ものごとを多角的にとらえられるようになります。2021年度以来、COVID-19の影響で、授業はオンライン授業が中心になりました。オンライン授業ですが、授業の質は心配する必要はありません。先生方は丁寧な授業ビデオとスライドを提供してくださり、メールやmanaba(教育支援システム)で質問に対応してください。

また、知識情報・図書館学類には留学生対象のチューター制度があります。普段の生活や勉強に関する問題を、遠慮なくチューターに相談できます。留学生相談室もあって、異文化への適応や友人関係など様々な問題にサポートしてくれるので、日本での留学生活にすぐ慣れることができます。筑波大学の知識情報・図書館学類に入学して良かったと思います。



進路

■「自分にマッチ」したフィールドを!

知識情報・図書館学類の魅力は、文理融合型カリキュラムによって、知識と情報、人間、社会に関する基礎的な知識と技術を広く学びながら、自分が深めたいと思う専門領域を見つけられるところにあります。基礎教育を重視したカリキュラムは、将来、多様な分野で活躍できる下地をつくります。三つの主専攻ではそれぞれ専門的な知識と技術を修得することができます。大学4年間を通じて、知識情報にかかわる広大な世界に触れることは、みなさんの可能性を広げることになるでしょう。知識情報・図書館学類では、隠された自分の可能性を発見し、「自分にマッチ」したフィールドにたどり着くことができます。

■進学

本学はもとより、他大学を含めて15~25%ほどの卒業生が大学院に進学しています。知識情報・図書館学類の教員が担当する大学院として、2年間の博士前期課程(修士課程)と3年間の博士後期課程(博士課程)からなる人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラムがあります。情報学学位プログラムには推薦入学の制度があるので、学類での成績が優秀なら早い時期から自分の進路を定めることもできます。いろいろな専門分野を学んできた多数の大学院生とともに切磋琢磨し、より高度な知識と技術の修得、先端的な研究を行います。こうして身につけた能力を

活かして、博士前期課程修了後にはより高度な専門性を必要とする職業に就くことができます。さらに博士後期課程へ進み、大学教員や研究者をめざす道もあります。情報学学位プログラムでは夜間や土曜日に学修・研究ができるように、東京キャンパス文京校舎に東京サテライトを設けていますので、社会人として仕事をしながら大学院で研究を続けることもできます。

■資格取得

将来へのきっかけとして、在学中に資格取得を考えてみるのもよいでしょう。資格取得はスキルアップにもなりますし、自分への自信にもつながります。将来、どのような職に就いても、「知識」と「経験」はかならず力になります。

知識情報・図書館学類では司書資格、司書教諭資格、教員免許状が取得できます。司書教諭資格は、司書教諭科目を履修し教員免許状を取得することで取得できます。教員免許状は、中学校教諭一種免許状(社会・数学)と高等学校教諭一種免許状(公民・数学・情報)が取得できます。また、定められた科目を履習して、JTCAに申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定を受けることもできます。

また、自分の可能性を広げるため、基本情報技術者試験、経営学検定試験(初級)などの受験を勧めています。

春日エリアのキャリア相談室より

キャリアアドバイザー 神村 孝子

キャリア相談室では「就職」「進学」に関する質問や相談はもちろん、「学生生活を有意義に過ごすためには」「学んだことを将来どのように活かしたいか」など、幅広い内容の相談が行われています。来談された方が対話をとおして自分を知り、社会を知り、将来のことを考え、主体的な学生生活を送るきっかけになる場所を目指しています。個別相談のほかには、学生間で対話をしながら進路を考える「ふんわり相談&就活あれこれ質問会」、「大学職員さんに話を聞こう」と称して、図書館職員や事務職員として活躍する方を招いて懇談し、実際の仕事を具体的にイメージするための試みも行っています。おかげさまで、1年生から4年生まで、各学年の進路の悩みや考えを語り合える場所になってきました。就職課とも連携しており、就職課主催のイベント等の情報提供もしています。イベントを通じて他学類の人や様々な社会人と接することは、進路への意識を高めるよいきっかけになると思います。筑波大学には、4年間の中で自分の可能性を広げていけるたくさんの機会と環境があります。これらを存分に活かすことで、変化の激しい時代に活躍できる基盤となる力を築いていただきたいです。知識情報・図書館学類は、学類での学びを活かして幅広い進路を選択できるのが特徴です。今を考えることは未来を考えることにもつながります。学生生活の中でちょっと立ち止まって自分のことを考えたくなった時に、ほっとひと息つける場所になれるよう、ドアを開けてお待ちしております。

■就職

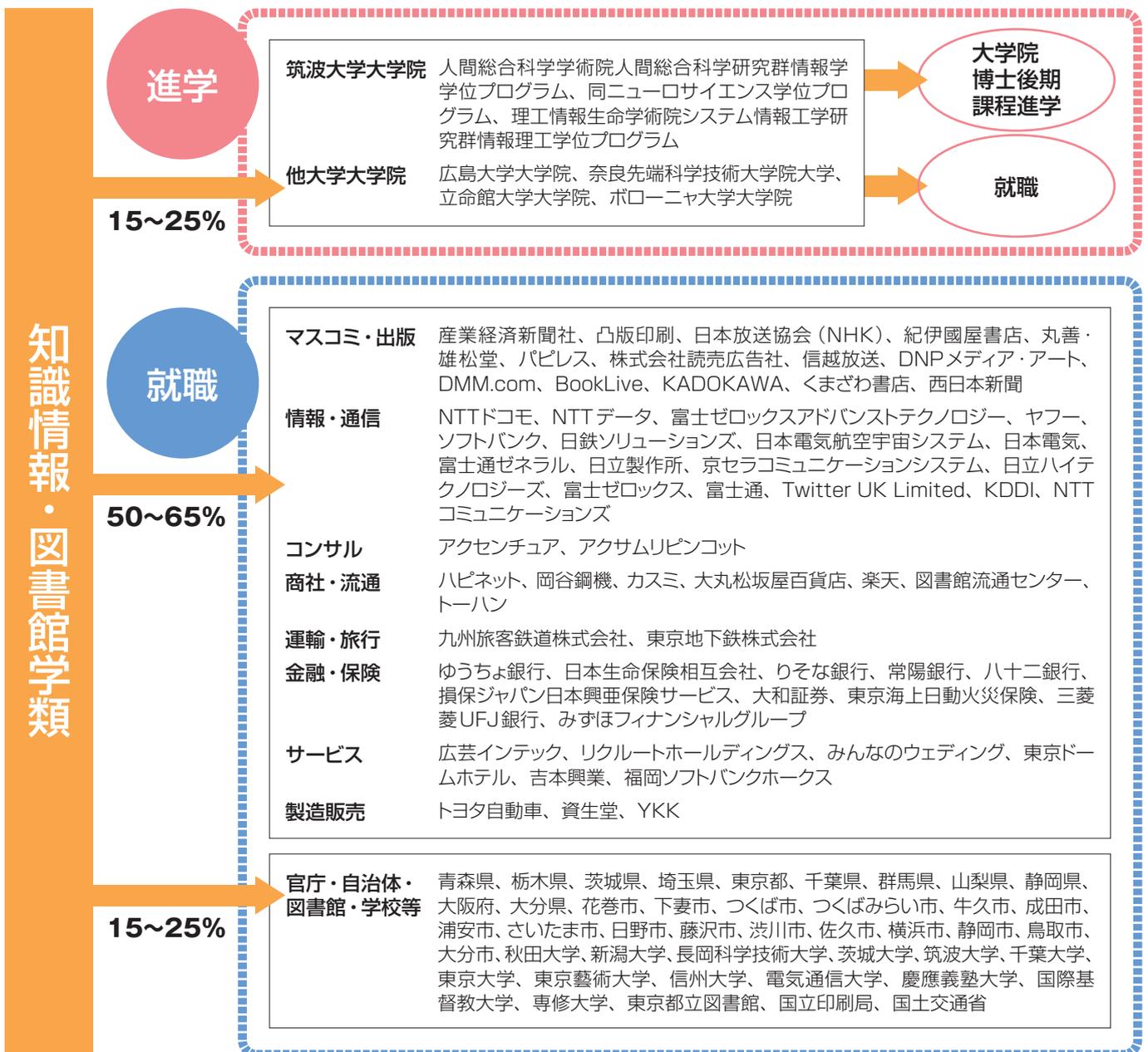
知識情報・図書館学類の卒業生は、さまざまな分野で活躍しています。下図のように、就職先は、大きく「公務員・図書館・学校等」と「企業」に分けることができます。「公務員・図書館・学校等」では出身都道府県に就職する学生も少なくありません。また、企業への就職では、出版社、書店・取次、IT関連企業、インターネット関連企業、通信関連企業、銀行、サービス業などがあります。テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定を受け、テクニカルライター職で活躍する学生も増えてきています。

今後ますます、知識の本質を理解したエンジニアや企画経営能力を有する開発者など、多様な視点をもった人材が必要とされ、実際にそうした人材を輩出しています。

■就職支援

知識情報・図書館学類では、きめ細やかな就職支援を行っています。学生の個別相談に対応するため、独自にキャリアアドバイザー（週1日）を配置し、気軽に相談できるようにしています。企業系志望の学生のためには、進路説明会や学生間で情報を共有するための「進路情報カフェ」などを実施しています。公務員・図書館志望の学生のためには、公務員採用試験に向けて独自の教養試験対策を行っています。また、全学レベルでのキャリア支援も受けることができます。

卒業生の主な進路



卒業生の声



永野 玄樹 NAGANO Genki

2018
年度卒

筑波大学大学院人間総合科学研究科教育学専攻 博士前期課程

みなさんには、どんな将来の目標がありますか。知識情報・図書館学類という名前に興味を持たれたということとは、司書をはじめ本や図書館に関わる仕事に就きたいと考えている方が多いのかもしれませんが。私は卒業生として、そのような方はもちろんのこと、まだ将来やりたいことが決まっていなくても、本学類へ進学されることを自信を持っておすすめします。

在籍した4年間を振り返ると、本学類の特徴である「文理融合を掲げたカリキュラム」の下で幅広い学問分野に触れる中で、進学前は想像もしていなかった、自分の関心のある領域の発見や新たな未来への可能性を与えてもらったと実感します。午前中にプログラミングの実習をし、午後は哲学と他学類開講の教職の授業を受ける。これは当時の私のとある1日の履修スケジュールですが、他大学・他学類出身の方にこの話をすると、必ず驚かれます。これほど幅広い分野の勉強を経験できる環境は、そうそう存在しないと思います。教員志望だった私ですが、一般企業へ就職することを決めるほど、未来の選択肢を増やすことができました。

もちろん、部活やサークル、アルバイトの時間を作ることも可能です。私は在学中、塾講師のアルバイトをしながら体育会の準硬式野球部に所属し、引退まで打ち込みました。授業の課題との両立は大変ではありましたが、スケジュール管理能力等とても鍛えられたと思います。

本学類での経験は、みなさんにもきっと新たな世界や可能性を示してくれるものとなるでしょう。ぜひ、この魅力あふれる環境に飛び込んでください。



マリアム・テボーレビ Mariam Tebourbi

2014
年度卒

Monash University, Department of Human-Centred Computing 博士後期課程

私はチュニジアからの留学生です。2013年に専門学校から知識情報・図書館学類に編入し、2015年に卒業しました。専門学校ではソフトウェア工学を学んでいましたが、次のステップに進むためには、技術的な知識と人間中心の社会情報学をバランスよく学べるコースを見つけたいとずっと考えていました。コースを探しているときに、筑波大学の知識情報・図書館学類を偶然見つけ、これは私にとって完璧な進路だと思いました。

知識情報・図書館学類で履修した授業は、プログラミング、プロジェクトマネジメント、機械学習、社会情報学、研究方法など、さまざまなテーマに触れていました。このような多様なカリキュラムのお陰で私は幅広い応用力を身につけることができましたし、現在の博士課程での研究にも活かしています。

学類の最終学年では、卒業研究を行い、学位論文を完成させる必要がありました。それまで学術的な研究をしたことがなかったので、最初は大変なことに思えました。しかし、学類のカリキュラムは、研究の旅に出る前に、定量的および定性的な研究方法を学ぶことができるように構成されていました。卒論指導の先生や他の先生方からも多くの素晴らしい指導を受け、初めての研究体験をとても楽しく過ごすことができました。

授業だけでなく、知識情報・図書館学類のキャンパスは、つくばセンターやつくば駅に近く便利な場所にあるので、勉強と生活のバランスをとるのも簡単でした。



今満 亨崇 IMAMITSU Michitaka

2010
年度卒

日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館情報課 勤務

私は今の職場で働くまでに、大学院と、2つの図書館関係の職場を経験しています。これまで携わった業務を思い返すと、資料を購入したり、その資料を検索できるように目録データを作成したり、利用者が求める情報を探すお手伝いをしたりと、図書館の仕事を一通り経験してきました。

最近では図書館の業務システムを担当しています。具体的にはシステムの機能変更や不具合解消のために開発者と話をしたり、新しいシステムを導入するために、様々な要望や市場動向を踏まえた仕様書を作成したりしています。また本業以外では、図書館関係団体が開催する研修の講師や、業界雑誌の編集委員長も務めています。

これまで様々な環境で働いてきましたが、いずれの環境でも知識情報・図書館学類で学んだことがベースとなっています。私は情報経営・図書館主専攻（現在は情報資源経営主専攻）でしたが、そこでの教育は、そのまま実務で活かせるものが多くありました。また専門基礎科目や他主専攻の授業は、文理を問わない幅広い視野の獲得や、図書館の周辺領域への理解に役立ちました。特にシステムへの理解は日々の業務で非常に役立っています。このほか卒業研究は、主体的に課題に取り組み、論理的に考え、それを文章で表現する良い訓練となりました。

図書館の話が中心になりましたが、本学群での教育はそれに限定されません。知識や情報を軸として、現代社会をより良く生きる力を育むものであったと実感しています。

図書館情報学橋会のご紹介

図書館情報学橋会は、筑波大学情報学群知識情報・図書館学類及びその前身学校の同窓会として活動をしています。図書館情報学橋会の現在の会員状況は、1400名(2018年)です。



知識情報・図書館学類の前身諸学校及び沿革について

知識情報・図書館学類の前身となる諸学校は、筑波大学図書館情報専門学群、図書館情報大学、図書館短期大学、文部省図書館職員養成所、国立図書館附属図書館職員養成所、文部省図書館講習所、文部省図書館員教習所です。

1921年6月文部省図書館員教習所が開設されました。日本における図書館員養成の始まりです。その後前述の各講習所、養成所を経て、1964年(昭和39年)に図書館短期大学に発展しました。その後、1980年(昭和55年)図書館情報大学が筑波の地に設置され、筑波大学との統合、その後の改編を経て現在に至っています。

これまでの活動

図書館情報学橋会では、これまでに定期総会開催時や筑波大学ホームカミングデー開催時に、卒業生や図書館関係者、大学関係者等による講演会などを企画し、卒業生間の交流の場を設けています。

講演会には、作家の阿刀田高氏や筑波大学卒業生で芥川賞作家の青山七恵氏、国立国会図書館長の長尾真氏などにお越しいただきました。また、筑波大学の溝上智恵子教授、呑海沙織教授にも講師としてご講演いただきました。

東日本大震災の1年後には、「一絆一図書館と震災を語り継ぐ」を開催し、現地での図書館活動の様子を話していただく場を設けるなどの活動をしてきました。活動の詳細はホームページをご覧ください。

〈図書館情報学橋会ホームページ <http://tachibana-kai.com/web/>〉

図書館情報学橋会 寺沢 白雄



鈴木 緑 SUZUKI Midori

2017
年度卒

一般財団法人日本自動車研究所 勤務

私は卒業後、民間の研究機関に事務職として入社し、異動と職種変更を経て、現在は技術職として社内システムの開発・運用・保守を行なっています。皆さんの中には、知識情報・図書館学類という名前から、ゆくゆくは図書館で働いたり司書教諭になるのかな、とイメージする方も多かもしれません。でも、蓋を開けてみると学類のカリキュラムは非常に幅広く、将来的には様々な分野や領域、職種を目指すことができます。大学生生活は4年ありますので、じっくり時間をかけて、なりたい自分を探すのもよいと思います。

私は2つの職種を経験していますが、学類で学んだ内容は、どちらの職種でも強みとして発揮できていると感じています。例えばテクニカルコミュニケーションの講義では、マニュアル制作を通して、文章の構成や表現、ビジュアル設計を学びます。この技術は、会議資料や企画書の作成はもちろん、システムのユーザビリティ設計やマニュアル作成など、かなり幅広く活用することができます。

他にもプログラミング実習では、要件定義や工程のフロー化等を経験することによって、論理的思考力が鍛えられます。この能力は新人研修の内容にもよく組み込まれるほど、社会人として身に着けるべきスキルの一つで、プレゼンスキルや問題解決能力の向上につながります。

テクニカルコミュニケーションもプログラミングもほんの一例に過ぎませんが、どちらも、人と情報・知識とのつながりをデザインするものです。デザインすることの楽しさを知ることができるのは、この学類の魅力の一つだと思います。



門脇 直哉 KADOWAKI Naoya

2012
年度卒

学校法人修道学園広島修道大学図書課 勤務

卒業後、大学院を経て大学職員として勤務しています。図書館配属となり、主にサービス業務や図書館システムの管理を担当してきました。日々実感するのは、図書館員に期待される能力の幅広さです。例えばレファレンス業務では情報検索の能力に加え、それを授業やガイダンスで学生に伝える力も求められます。資料管理系の業務では、目録の整備、電子ジャーナルの契約、リポジトリやデジタルアーカイブの構築などがありますが、充実したサービスに繋げるためには学術情報流通の動向やメタデータの知識が欠かせません。この他にも学生スタッフとの協働活動、資料の防虫・湿気対策など業務内容は幅広く、求められる能力も様々です。

様々な業務の中で共通して大切なのは、知識と情報を適切に扱う力です。関係者との情報共有、利用者とのコミュニケーション、職員間の知識の継承、サービス設計といった業務のあらゆる場面で知識と情報が必要とされますが、適切な共有・管理の意識によって業務の進めやすさやサービスの質は大きく変わってきます。これ

は図書館以外の職場や日常生活の場面でも共通しているのではないのでしょうか。

知識情報・図書館学類には、知識や情報を取り巻く世界を体系的に学べる環境が整っています。私は高専で情報工学を学んでいて、技術的なことに注目しがちでしたが、編入学によって情報技術が扱うデータ・情報・知識の在り方に接し、大きく視野が広がりました。多様な背景をもつ友人たちとの出会いも刺激的です。ぜひ、知識情報学のフィールドで自分の世界を広げていってください。

図書館情報学図書館のご紹介

筑波大学の附属図書館は、中央図書館と体育・芸術図書館、医学図書館、図書館情報学図書館、大塚図書館の5つの図書館で構成されています。全館で273万冊の図書、3万タイトルの雑誌、電子ジャーナル3万タイトル、電子ブック4万タイトルを所蔵しています。学生みなさんは、所属にかかわらず、全ての図書館を自由に利用でき、貴重書等を除きほぼ全ての本を直接手に取って読むことができます。

春日エリアには、専門図書館の一つとして「図書館情報学図書館」があります。

図書館情報学図書館は、約26万冊の資料を所蔵しており、全国でも数少ない図書館情報学の専門図書館です。

1階に専門分野の資料として情報学や図書館学、例えば、情報科学・プログラミング・電気工学、図書館・メディア・博物館・百科事典などの資料、2階にそれ以外の幅広い分野の資料を配置しています。専門分野の図書は網羅的に集めていますので、知りたいテーマの棚に行けば資料が揃っていますし、新着図書コーナーをチェックすれば最新の動向もわかります。

学習のための資料を集めたコーナーもあります。一般教養図書コーナーは公務員試験等にも活用できるお勧めの本が揃っていて人気です。英語教材コーナーには多読学習のためのやさしい英語の本のシリーズもあり、継続的に借りて行く学生さんを多く見かけます。

貴重書庫には、世界最初の活版印刷の印刷物と言われるグーテンベルク聖書の1ページなど、貴重な資料があり、教員所蔵の資料などと合わせて定期的に展示も行っています。



平日8時半から22時まで開館するなど、長時間開館していて電源やWi-Fiも備えていますので、大きな机や個人用の机、パソコンのある席など好みのスペースで様々な学習ができますし、ラーニングcommonsとしてグループでの学習や大人数のイベントを開くことができるスペースもあります。

職員も講習会や、カウンターやオンラインでのレファレンスなどでサポートします。ラーニングcommonsでは上級生のチューターさんに相談することもできます。

図書館でみなさんをお待ちしています。





学生生活 Q&A

Q 入学金と授業料は？

A 2022年度の場合、入学金は282,000円、授業料は年間535,800円です。なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

Q 授業料免除の制度はありますか？

A 2021年度は全額免除・2/3免除・半額免除・1/3免除がありました。2021年度春学期知識情報・図書館学類の場合、免除者は58名でした。2020年度から、国の施策「高等教育の修学支援新制度」により日本学生支援機構の給付型奨学金を受けている人が授業料免除を受けられるように制度が変わりました。給付型奨学金を受けていない人は筑波大学独自の授業料免除を申し込むことができます。上記は合計の人数です。

Q どんな奨学金がありますか？

A 日本学生支援機構による奨学金制度には、給付型と貸与型無利息の第一種奨学金と利息つきの第二種奨学金があります。

2021年度入学者の場合（月額）

● 給付奨学金（世帯の所得金額により決定）

[自宅通学者] 29,200円、19,500円、9,800円
[自宅外通学者] 66,700円、44,500円、22,300円

● 第一種奨学金（希望額を選択）

[自宅通学者] 20,000円、30,000円、45,000円
[自宅外通学者] 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円

● 第二種奨学金（希望額を選択）

20,000円～120,000円までの1万円単位の金額
その他、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、地方自治体や財団法人による各種奨学金制度もあります。

Q 奨学金を受けている人はどのくらい？

A 2021年度知識情報・図書館学類1年生の場合、日本学生支援機構の給付型奨学生5名、第一種奨学生は11名、第二種奨学生は2名でした。

Q 学生宿舎はありますか？

A 春日エリアに春日学生宿舎があり、春日エリアの新入生は優先的に入居できます。全室個室、ベッド・机・椅子つきで、LANの設備もあります。宿舎費は、月額19,615円です。この他に、個室電気料（従量分）、コインランドリー代1回100円、シャワー代1回100円がかかります。また、徒歩15分～20分のところに、追越学生宿舎、平砂学生宿舎、Global Villageがあります。

Q アパートは紹介してもらえますか？

A キャンパスの近くには多くの学生向けのアパートがあり、台所と6畳の1Kで3～5万円程度で、徒歩や自転車で通える範囲から探すことも可能です。学生生活課の窓口には、一部近隣物件の資料があり閲覧可能ですが、大学から直接、物件の紹介やあっせんは行っておりませんので、各自不動産業者に照会してください。

Q 授業のある日は？

A 春学期（4月1日～9月30日）、秋学期（10月1日～3月31日）、それぞれに3つのモジュール（A, B, C）があり、この期間の月曜日から金曜日に授業があります。週2時限で10週間の授業に試験またはレポートが基本ですが、5週授業（週4時限）、15週授業（週1時限）、30週授業（週1時限）の科目もあります。土曜や休暇中の集中授業もあります。夏休みは8月中旬から9月末まで、冬休みは12月下旬から1月上旬、春休みは2月中旬から4月上旬までです。

Q 大学構内の移動は？

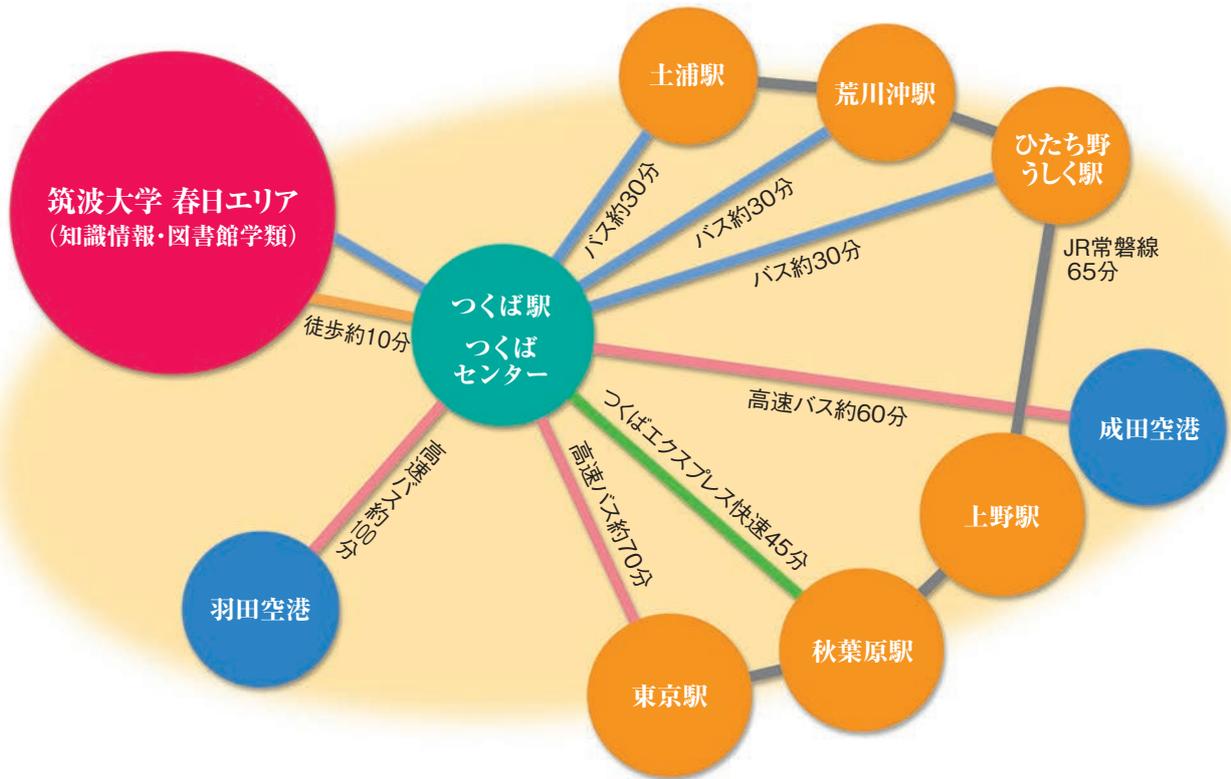
A 路線バスを使って他エリアに移動できます（平日8:00～21:00は20分間隔）。学生は年間19,000円の定期券で、つくばセンターから大学構内までの路線バスをいつでも自由に乗り降りできます。また、自転車で移動する学生も大勢います。

Q パソコンは必要ですか？

A 春日エリアには、WindowsとLinuxの両方が使えるパソコン約230台が設置されており、自由に使うことができます。ただ、多くの学類生は自分自身のパソコンをもっているようです。すべての教室で無線LANが使える、春日学生宿舎のすべての個室にも無線LAN（有線使用も可）があります。

Q 休日に図書館や実習室が使えますか？

A 図書館情報学図書館が8:30から22:00（土日祝10:00から18:00）、春日エリアの実習室が8:00から22:00で、休業期間中は短縮されます。春日エリア外の図書館や実習室も利用できます。ただし、授業のため利用できない場合があります。なお、コンピュータシステムは基本的に年中無休でいつでも利用できます。



■ 徒歩

「つくば駅」(A2出口)または「つくばセンター」から徒歩約10分です。

■ 鉄道

秋葉原駅からつくばエクスプレス 快速に乗ると45分で「つくば駅」に到着します。

JR常磐線 ひたち野うしく駅、荒川沖駅、または土浦駅で下車し、「つくばセンター」行きもしくは「筑波大学中央」行きのバスに乗ると、約30分で「つくばセンター」に到着します。

■ 高速バス

東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「つくばセンター・筑波大学」行きに乗ると、約70分で「つくばセンター」に到着します。

■ 車

常磐道「桜土浦IC」で降り、東大通りを約5.2km北上し、左折して北大通りに入り、2つ目の信号を左折すると「筑波大学春日エリア」に到着します。

圏央道「つくば中央IC」で降り、サイエンス大通りを3.2km北上し、右折して2km「春日1丁目西」の次の信号を右折すると「筑波大学春日エリア」に到着します。

■ 飛行機

「つくばセンター」まで、羽田空港からは高速バスで約100分、成田空港からは高速バスで約60分です。

お問い合わせ

〒305-8550 つくば市春日1-2
筑波大学 図書館情報エリア支援室
 TEL:029-859-1110 FAX:029-859-1162

<https://klis.tsukuba.ac.jp/>
 E-mail klis-info@inf.tsukuba.ac.jp

2022年3月発行

